



- 国際ロータリー会長 ヒュー M. アーチャー ● 第256地区ガバナー 吉野 一郎
- 会長 — 小林 英雄 ● 副会長 — 小林九満太 ● 幹事 — 五十嵐昭一
- SAA — 近藤 雄介、渡辺喜彦 ● 例会日 — 毎週水曜日 12:30~
- 例会場 — 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
- 事務局 — 三条市旭町2-5-10 TEL 35-3477 田中久美子

(FAXも同番号 午後3時以後はFAXに切り替ります)

- クラブ会報委員 — 古沢 富雄、渋谷 正一、佐久間洋一、高橋 清見、小林 正義

出席会員数	会員 73名中 51名
先々週出席率	91.78% (前年同期 95.24%)
今日のお花	バラ
ヴィジター	三条南より 鈴木幸一君、永桶栄資君 三条北より 芦田義重君、山上茂夫君
ゲスト	三条警察署 署長 竹内健一殿
先週のメイクアップ	9/5 札幌西へ 五十嵐晋三君 9/7 ローターアクトへ 吉井俊介君 9/7 燕へ 岩井数央君、渡辺勝利君 9/7 新潟西へ 渋谷健一君 9/7 加茂へ 山谷春夫君 9/11 三条南へ 近藤雄介君、五十嵐寿一君、斎藤弘文君、古沢富雄君、藤村義彦君、鈴木宗資君、五十嵐総一君、伊藤廣一君 9/12 三条北へ 野村竹三郎君、大谷幸平君、広岡豊作君、外山雅也君、加藤紋次郎君、堀川政雄君、広瀬昌寿君

会長挨拶

小林(英)会長

今日の例会には、三条警察署長竹田健一さんをお迎えしました。世界の中で日本が最も治安のよい国だと言われています。同一民族であること、組織と統制力にすぐれた日本警察の存在がその一つだと思います。しかし最近、社会を震撼させる犯罪事件が起きています。東京の連続少女殺人事件の犯人の犯罪は、きわめて個人的な、あまりにも人間本性の闇の底に触れる怖しさがあります。普通の人間のすることでない一方でまた、普通の人間もいつ犯すかもしれない怖しさがあります。現について先日、新潟県警の素早い行動で弥彦で犯人を捕え、子供が無事に帰った事件の犯人は三条市の住人でした。何か今までの犯罪と違った異次元の犯罪が遠からず将来することをべつ見しますと、慄然といたします。

当クラブには、保護司や裁判所の調停委員として、ご活躍の方がたくさんおられますが、我々の地域社会について、竹内署長さんから率直なお話を拝聴し、何かヒントをつかめたらと思います。

— × — × — × — × — × —

先般の理事会でご承認を得ましたので、来る9月20日PM6:30、松木屋で、歴代会長会議を開きます。

幹事報告

五十嵐(昭)幹事

◎例会変更のお知らせ

分水RC——9月19日(火)夜の例会 PM6:30~ 於 和泉荘

ニコニコボックス ¥8,000

- 榎本君 竹内三条警察署長をお迎えして。
- 外山(雅)君 過日外地で凶らずも女性3人と組んでゴルフを楽しんで参りました。尚、先回は連絡ミスでお休みしてすみませんでした。
- 高橋(一)君 週報にいい男がうつっております。
- 銅冶君 今月はよいことがあります様に。
- 小林(英)君 竹内三条警察署長殿のご来会に感謝申し上げます。
9月23日、巻クラブ認証状伝達式出席者が足りません。是非ご参加をお願いします。
- 五十嵐(晋)君 先週札幌でメーキャップをしました。卓話アントニオ古賀のギターでした。久し振りにギターを聞いて感銘しました。

高齢者問題委員会

コレステロールの話

成人病というと反射的にコレステロールという言葉がでてくる程、日本ではコレステロールはおなじみになっている。ところが東京地区の主婦を対象にしたアンケート調査では、60%以上の方がコレステロールは体に必要ないと答えている。実際にはコレステロールは神経組織に沢山含まれ、副腎皮質ホルモンや性ホルモンの材料になり、胆汁酸にも含まれて消化を助ける。また細胞膜の重要な構成成分の一つである。これが不足すると感染症にかかり易く、血管の壁が弱くなって脳卒中になりやすくなる。日本人の場合コレステロールへの認識は体に必要な物質であるという知識を飛び越えて、とりすぎると動脈硬化や心臓病になるという、非常に歪んだものになっている。80%位の方が血液中のコレステロールの低い人程長生きすると思っている。統計ではコレステロールが上昇してくると、それに伴って脳卒中も減少してきている。人間の血液中のコレステロールは70歳を過ぎると加齢にともなって自然に下がってゆく。コレステロールが低過ぎる人は栄養のとり方が十分でないか、老化のため、吸収力や肝臓での合成力が落ち込んでいることを示すものである。

卓話

三条警察署 署長 竹内健一殿

三条警察署長の竹内でございます。簡単に自己紹介を申し上げます。

この春、3月15日付けで三条に参りました。生まれは新井市。学校を出まして直ぐ警察へ入りまして34年経過、主として防犯警察が長く、署長は新津に次いで二度目です。

皆様からご協力をいただきながら、三条市民のために頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

また、常日頃から警察業務各般にわたりまして、皆様方の温かいご理解とご支援をいただきまして、この席を借りまして厚くお礼申し上げます。

さて、この3月に三条へ参りましての印象を申しますと、まず第一に、「非常に活気のある町だな」というのが、素直の感想です。町で行き交う人達の目つきを見ましても、生き生きとしており、「活気のいい町」という印象を強く感じました。

反面、「気ぜわしい感じ、せわさわしている人が多い」という感じを抱いたのも事実です。三条という町は、300年という古い歴史のある金物の町だとのことですが、いわゆる職人町なのでしょうか、それを反映してか非常に気ぜわしい感じ、この町の人達の車の運転をみてますとそのことを感じます。

私が毎日の通勤途上、横断歩道を渡る時手を上げて、車はなかなか止まってくれません。これが新津市ですと10台中8台くらいは止まってくれるのですが、三条ではなかなか



止まってくれない。警察署長が車にはねられた、ということになりますといろいろ問題にもなりますので、最近私は私も注意深くなりました。

そこで、どんな車が止まってくれるだろうかということ約3か月かかって観察致しましたところ、白い色の車で、若い女性が運転している車が一番止まってくれることがわかりました。

交通事故が非常に多い、而も増加の傾向にあることは県内でも全国でもはっきりしています。三条署管内は県下でもトップクラスです。

当署管内が新潟県下でも交通事故多発地域である原因はいろいろありましょう。三条署管内は、小路が多い、道路が狭い、交通規制が複雑である等の原因があるかと思えます。この管内では年々車が1,600台ずつ増えています。したがって、交通事情は悪化しています。交通事故のなかでも多いのは、何と云っても交差点での事故です。これは「少しでも自分の車が前へ出なければ」という気持ちが強いのではないかと考えています。パトカーの前へですら急に出てくるのさえ見受けられます。

このことは当地域では「譲り合いの精神が薄い」ことからきているものと思えます。実際に車を運転してみて、大きな通りに出ようとして待っているといつまでたっても出られないということをごへ来て私自身体験しました。

私は、三条の交通マナーがよくなってもらいたいことを強く願うだけに、現状では、「トップクラスに三条の交通マナーは悪い」と敢えて率直に申し上げます。

先程申しましたように、交通事故は増加の一途を辿っています。事故を起こすとどちらも被害者です。実際の被害者の方はもちろんのこと、加害者の方も後々まで物心両面で苦勞します。皆さんの従業員のなかでも車を持っている方が多いと思えますが、事故を起こさぬよう常日頃からご指導いただければ、とお願いするものです。

私がここへ来ましたとき、4件の死亡事故がありました。何れも21歳未満の若い人です。交通安全の講習会などをやりましても、若い人達の出席は殆どなく、出席されるのは立派に交通安全を心掛けている方ばかりです。

そこでこの6月から全警官を動員しまして、21歳未満の運転者、約1,800人おりますが、個々に面接をしチラシを渡して、事故防止の注意喚起と安全運転誓約の署名をしてもらいました。これが功を奏したのかどうかわかりませんが、以来若い人達の死亡事故は当署管内1件も発生しておりません。

ところが、今度は老人の方の事故が増えてきました。現在、お年寄りの方の安全運転旬間を実施中です。新潟県の老人人口比率は17.1%、これは日本全国の10年後の予想数字と同じ、つまり本県の高齢化は全国に比し10年先行しているということになりましょう。何れにしろお年寄りの方も交通事故には十分に気を付けていただきたいと願うものです。

次にお話したいのは、少年の問題についてであります。これについても三条署管内は子供の非行率、警察に補導される件数が高いというのも残念なことです。

この問題に関しましては、子供の教育の在り方もさることながら、私が特に申したいのは、子供さんを対象に商売されている方に、社会的責任ということをもう少し考えていただきたいということです。

例えば、実際にあったのですが、パーマをかけている高校生がいましたので、何処の学校でもパーマは禁止しているはずですが、かけたパーマ屋さんを聞き出しましたので、そのパーマ屋さんに行きました。「お宅ではご自分の子供さんにはパーマをかけてあげますか」と尋ねました。答えは予想したとおり「自分のところの高校生の子供にはパーマをかけるはずがない」ということでした。自分の子供にはかけない、しかしよそさんの子供であればお客さまなのだからかけるということなのです。「商売なのだから」という気持ちもわからなくはありませんが、そのパーマ屋さんには、子供の非行防止という社会的責任からご協力をお願いしたということがありました。

「世の中には、子供達を対象とした商売をし、そして利益をあげながら、子供達を悪くしている例がかなりある」と私はいろいろな所で話してきました。

本県にも青少年育成審議会というのがあります。警察とか知識人の方たちが委員になっていますが、その審議会で青少年にとって有害な凶書を指定しまして、それを売った場合は処罰されることになっています。今問題になっていますホラー・ビデオなんかも今後検討していくべきでないかと私自身は思っています。

また、昨今の大型店の増加に伴い万引きが増えています。店の中には「少々の万引きくらいは仕方がない」と思っている方もいるかも知れませんが、万引きは一旦警察で補導された子供が、再度万引きをする率は大体2.4%といわれています。つまり、100人中98人くらいは一度警察に補導されると再び万引きをしていない、ということです。

ところが見つからないと次から次へと万引きを犯す、これがまた万引き行為を軽視出来ないことなのです。したがって、非行防止の観点からも、万引きしにくい店づくりをすること、並びに万引き防止のための監視体制をとることが社会的責任を果たすことにつながると思います。

最後に、空き巣狙いについて十分ご注意ください。三条地区も交通の要衝であること、共稼が多く日中の留守宅が多いこと、特に新興住宅街では盗難が増加しています。施錠の励行はもちろんのこと、とりわけ不要の現金はなるべくおかない等留意してください。

住みやすい町、三条にするためこれからも皆様のご協力をお願いして私の話を終わらせていただきます。

地区年次大会

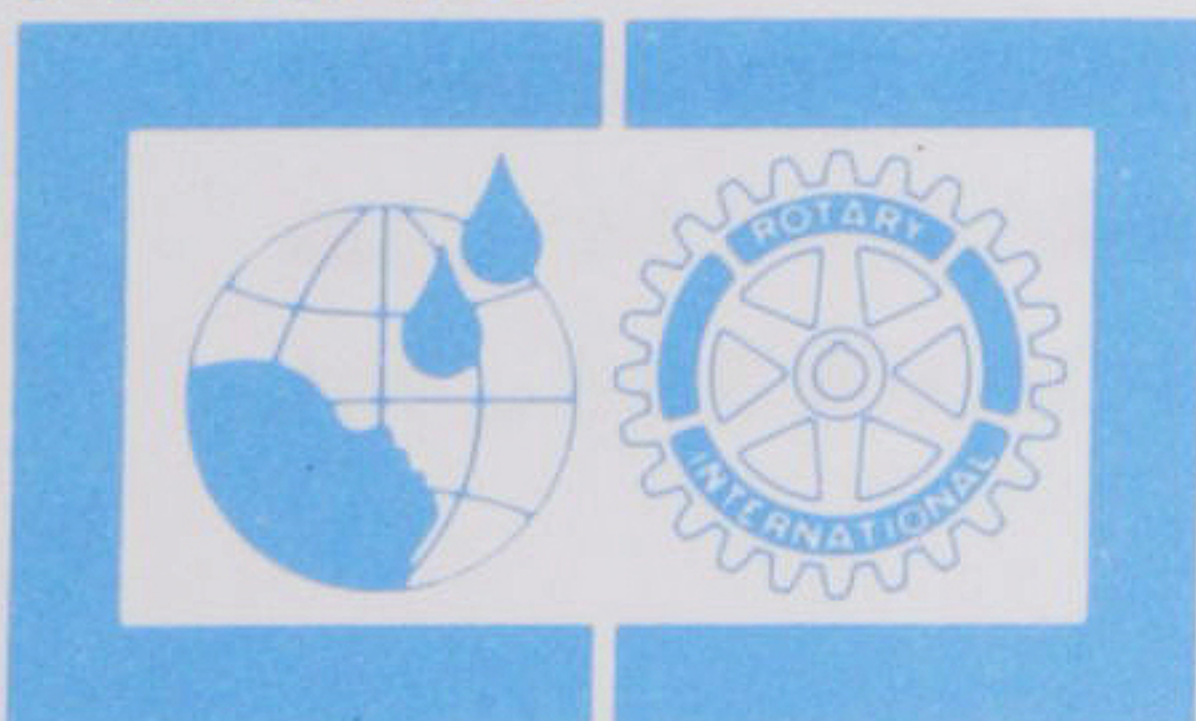
今年も当地区の地区大会が10月14、15日桐生市で開催されます。そこで要点をご参考迄に……。

- (1) 地区大会は地区ガバナーが公式訪問を完了したか、それに近い時期に、ガバナーの職責として開かれます。場所と時期は、地区内RC会長の過半数の同意を必要とします。場所は地区の中心に近いことが望まれます。
- (2) 地区大会のプログラムには、最も重要とされるRI会長（又は代理）の挨拶、地区内知名の士の挨拶、ロータリーの綱領に副う有益且つ感動的な講演、次々年度にガバナー職を担当するガバナー・ノミニーの選出、規定審議会開催前の年度の場合、その代表議員の選出、その他制定案を含む決議案の採決等の審議決定のほか、タウン・ミーティング、諸協議会を包含し、且つ有効な親睦行事を添えること。〔細かい取り決め、或は勸奨が示されている〕
- (3) 地区大会は最少限度2日、最大3日迄とされています。
- (4) 本会議は昼食、娯楽、休憩時間を除き、9時間以上とされ、これを厳守するよう定められております。〔手続要覧より〕

次 週 例 会 9月20日 卓話 青少年問題について 藤田説量会員

次々週例会 9月27日 早朝例会 於 西本成寺 AM5:50~

PolioPlus



“開発途上国の新生児を対称に
ワクチン投与資金協力を”